

「山口佐賀県知事のオスプレイ配備計画  
に関する県議会答弁について」  
(市長コメント)

山口佐賀県知事は、9月10日の佐賀県議会一般質問において、柳川市の「佐賀空港における航空機の運航に伴う環境保全に係る合意書」に基づく協議不履行に対する抗議について、「約束をほごにした覚えはない」と答弁され、また、「柳川市などとの事前協議は、県有明海漁協との公害防止協定の見直しが終わった後」という考えを示されました。

しかし、本市では、平成26年11月5日に当時の古川前知事へ、「佐賀空港へのオスプレイ等の配備計画に関する要請書」を手交し、その中で、オスプレイ等の佐賀空港への配備に関しては、「誠意をもって柳川市と協議すること」、「配備計画の是非を判断するに当たっては、柳川市の意向を十分に踏まえること」について要請しました。

その際、古川前知事からは、「この規定は、何もかも全て決まってから、これで行きますというものではないと理解している。合意書の精神をしっかりと踏まえたうえで、柳川市と協議する必要が出てきた時は、しっかりとやりたい」との返答をいただいております。

また、このことは、行政の継続性の観点から、平成27年11月4日には、山口知事に対して、「佐賀空港へのオスプレイ等の配備計画に関する要請書」を手交した際にも伝え、山口知事からは、「真摯に重く受け止めてしっかりと対応していきたい」との回答がありました。

このことから、私は、知事がオスプレイの受け入れを表明される前に協議が行われるものと理解しておりました。従いまして、これまで相互に良好な関係を築きつつ、観光等の連携面でも成果が高まってきた中において、昨日の佐賀県議会における知事の答弁については、全幅の信頼を置いておりました私にとりましては、甚だ遺憾であります。

平成30年9月11日  
柳川市長 金子健次